

## オーストラリアへ行って来ました



8月21日から27日まで岩倉市内の中学生12人がオーストラリアへ行って来ました。

行き先はブリスベン郊外のジンブンバにあるヒルズ学園。ここで、中学生たちはホームステイをしながら、現地の人たちと交流を行いました。その様子を中学生の手記を元に紹介します。

### ヒルズ学園

ヒルズ学園は1992年に設立した学園で、小・中・高校に分かれていて、コンピュータ室などの特別教室や、ゴルフ場などの体育施設がありました。ヒルズ学園ではゴルフが有名で、4つのコースがあります。ヒルズ学園は250万㎡余りの広さの中で、そのうち10万㎡をビルディングエリアとして利用しているそうです。私が使っていた教室から一番近いトイレまで5分位かかりました。遠いなと思いました。(小林 知佳)

### 現地校での授業

ヒルズ学園での授業は、English、Art、Japanese、Drama、ゴルフでした。ゴルフはプロの先生に教えてもらいました。最初は持ち方。次に

ヘッドの置き方。それから体勢。次に打ち方。そして、いよいよ打ってみました。ほとんどの人が最初は空振りばかりしていたけど、だんだん上手になってきました。Artはヒルズ学園にあった、大きな山の写生をしました。オーストラリアの子たちは速く描いているのにすごく上手でした。Artの先生が、「水には何が映っているかな?」とか、いろいろなことを言っていました。(山田 知香)

### 英語の授業

僕達の担任は、レインボウ先生でした。レインボウ先生は、正真正銘外国人であり、日本語はまったく分からなく、すべて英語でのコミュニケーションや授業を受けなければなりません。『Iwakura Junior High School Beginner's Workbook』という書き込み式のノートをもらい、それと一緒に授業を進めていきました。レインボウ先生のおかげで、いつも笑顔で、冗談も言いつつ、毎授業がとても楽しく、しっかり勉強することができました。レインボウ先生は名前の通り『虹』のような先生でした。レインボウ先生に岩倉に来ていただき授業を受けたいです。(吉安 諒祐)



## 交流授業をして

私たちが交流授業をしたのは、滞在4日目だった。内容は日本の四季についての説明とソーラン節を踊ること。本番はBUDDYや現地校の子達の前でまずソーラン節から踊ることに。最初に私達だけで踊り、次にBUDDYに教え、そして3回目にBUDDY以外に見に来てくれた子達と一緒に踊った。そして息をつく暇もなく次に四季の説明へ。一通り終わった後、「どうもありがとうございました」と日本語で言われびっくり。満面の笑顔で踊ってくれて私達は本当にうれしかった。最後にははっぴもはちまきまでも貸してあげた。その顔には本当に楽しそうな笑顔、笑顔、笑顔。たった一つの踊りでたくさんの人たちがこんなにも楽しく

なれるということ知った。汗だくになりながらも最後まで一生懸命踊り、私達があげた楽しさより、何倍も何十倍もの元気を子供たちからもらったような気がした。本当に心から楽しかったと、そう思えた一日だった。(中井 由希子)

## ホームステイで感じたこと

ホームステイは、私がオーストラリア派遣のプログラムの中で一番楽しみにしていたことである。その反面、私の乏しい英語力で家族の一員として過ごすことができるかという大きな不安を抱いていた。初日こそは何を言っているのか理解できなかったが、一緒に生活しているうちに言おうとしていることが次第にわかるようになった。日本と一番違うと感じたのは、家の建っている敷地の広さである。家も大きいのだが、庭には大きな木が10数本も植えてあり公園のように大きな庭だから、家同士の距離がとても遠いのである。土地が広いので近く的大型スーパーに行くのにも片道30分程かかる。買い物に行く曜日は決まっていて、週に1、2回だそうだ。

不安と期待が入り混じったホームステイだったが、本当の家族として接してくれたタウンシング一家と過ごすことができてよかった。このつながりを大切にしていきたいと思う。(長谷川 円香)

## ローンパインコアラ保護区

コアラを抱いて写真を撮りました。コアラは思ったよりずっしりしていて、爪が長かったです。だけど全然痛くないし、怖くありません。抱き終わった人が「背中なでたよ」と言っていました。

その次にカンガルーのところへ行って餌をあげました。最初は怖がっている人もいたけど、だんだん慣れてきたみたいで大きなカンガルーにもあげていました(渡辺 恵子)



## バーベキュー

8月25日水曜日。オーストラリアで生活をして4日目。この日の昼食はみんなでバーベキューパーティーです。みんなそれぞれ一人ずつ、現地校の子とペアを組みます。みんなバディと一緒に食べたり、話をしたり、とても盛り上がっていました。英語がうまく話せなくても、バディは本当にみんないい人ばかりで、いつも笑顔でいてくれました。私たちはみんな、完璧に英語が話せるわけではありませんが、コミュニケーションはしっかりとることができました。このバーベキューパーティーは、バディとともにコミュニケーションがとりやすく、どの子もバディと仲良くなることができましたと思います。本当に、最高!と叫びたくなるバーベキューパーティーでした。(峯村 明香)

## ホストファミリーとの別れ

あっという間に4日間が過ぎ、ホストファミリーとの別れの日がやってきました。家から出るとき、お父さんがスーツケースを、ダニエルがサブバックを車まで運んでくれました。私はホストマザーの車でヒルズ学園まで送ってもらって15分の間に、この4日間のことをいろいろ思い出していました。そして、この時が一番別れるのがさみしいと思ったときでした。(佐々木 むつき)

今年、国際交流協会は、中学生海外派遣の委託を受け、この旅を企画しました。ここに載せた文章は、報告書からの抜粋です。報告書がほしい方はお電話下さい。内藤 0587-66-7347

## 国際交流連続セミナー at 岩中 第1回

# モンゴル体験「ビー モンゴル フン」(私はモンゴル人)

7月10日(土)午前10時、岩倉中学校音楽室にてグループ“サランモル”による馬頭琴の演奏とモンゴルについてのお話を聞く会を開催しました。当日は洪水警報まで出るような大雨でしたが、開催時間までにどうにか雨もおさまり、たくさんの方に参加してもらうことができました。モンゴルのお話は、初めて聞くことも多く、身近に聞く馬頭琴の演奏は迫力があり、すばらしかったです。

### 参加した人の感想

- 子どもが「スーホの白い馬」を読んでから、ずっと「馬頭琴ってどんな楽器?」とっていました。今日は演奏を聴くだけでなく、実際に自分でもさわることができ、大満足だったと思います。
- モンゴルって歴史で習ったぐらいしか知らなくて、初めて知ったことばかりでした。モンゴルの話を聞いたり、写真を見ていたら、モンゴルへ行ってみたいくなりました。
- 馬頭琴に初めてさわりました。ドレミファソラシドはすごくむずかしかった。またできたら馬頭琴で何か演奏したいなと思いました。



アマンさん

## 市民体育祭前夜祭

10月2日(土)くすのきの家で市民体育祭前夜祭を開催しました。

市民体育祭に参加する会員のみなさんと外国人のみなさんが一堂に会し、交流しました。

司会はジュニアスタッフの加藤ゆりさん、近藤泉帆さん、そしてメキシコ人留学生のルーカス君が勤めました。ゲストにセネガル人のダンサーのアマンさんとアフリカ太鼓の演奏家の森さん、斎藤さんを迎え、楽しい時間を過ごすことができました。

みなさんが持ち寄ったそれぞれの自慢料理に舌鼓を打ちながら、話の輪ができました。

途中で翌日の体育祭の種目紹介があり、自分の参加する種目を決めました。

体育祭本番は雨に濡れながらも健闘しました。

また、来年も参加したいという声が聞こえてきました。

## フィリピン・ピナトゥボへ一緒に行きませんか。

今年も国際交流協会では、フィリピン・ピナトゥボ訪問を行います。今までに200人以上の人が参加し、ホームステイをしながら、現地の人と交流し、心温まる出会いを体験してきました。

今年こそ行ってみようという人、大募集! 先着順です。

- ▼訪問期間 平成17年3月26日(土)~31日(木)
- ▼募集人数 大人10人、子ども(小5~中3)10人程度。
- ▼参加費 13万円(14歳以下はビザの費用が必要)
- ▼申込・問合せ先 岩倉市国際交流協会事務局 内藤 66-7347
- ▼募集開始 11月1日



## 「愛・地球博」のホストファミリー募集

「愛・地球博」が2005年(平成17年)3月25日～9月25日の予定で、長久手や瀬戸を会場として開催されます。

この「愛・地球博」に関連して、海外から、また国内から多くの外国の方が博覧会会場を訪れることが予想されるため、名古屋市と名古屋国際センターにより「1000人ホームステイボランティア」という構想が進められています。これは、1000件以上の御家庭にホストファミリーとして登録していただき、外国の方を温かくおもてなししようというものです。岩倉市国際交流協会もこの構想に賛同し、「愛・地球博」のホストファミリーを募集しています。

ホームステイは、ゲスト(ホームステイする外国の方のこと)が日本の家庭に宿泊してその家庭生活を体験することにより日本人のふだんの姿を理解してもらうものです。ホストファミリーも宿泊する外国の方との交流によりその習慣等を直接体験し、相互の理解が深まることでしょう。

**募集家庭数** : **30家庭**

興味を持たれた方は下記へ御連絡下さい。詳しい資料を送付いたします。

申込み・問合せ先: 岩倉市国際交流協会

井上 (Tel/Fax) 0587-66-3192

中山 (Tel/Fax) 0587-66-8573

(E-mail) nakayamafc@aol.com

## いわくら市民ふれ愛祭り2004



### 岩倉市国際交流協会コーナー

バザール会場の国際交流協会コーナーにて「地球をグルッと食べ物紀行」を開催してきました協会ですが、今年は焦点をキューバに絞って、キューバ料理を皆様に楽しんでいただきたいと企画しています。愛・地球博もすでに半年後の開催と迫り一市町村一国フレンドシップ事業のキューバをより皆様に近くに感じて頂きたいと思っています。

国際交流協会コーナーではキューバ料理の「フリカセ デ ポーヨ」(鶏肉の煮込みトマト風味)、「ピカディージョ ア・ラ アパネーラ」(ハバナ風挽肉)、「アロス コン グリ」(豆入りご飯)、「ココナッツミルク入りキューバ飲料」を作ります。協会会員が5月にキューバまで出かけた際に、現地の家庭で教えていただいた料理です。日本人にも食べやすく、とても家庭的な品々です。ぜひふれ愛祭りにお越しの際には、国際交流協会コーナーにお立ち寄りください。

## 会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振り込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。

新規会員の申し込みについては下記申込先、問い合わせ先にご連絡をお願いします。

**申込先** 岩倉市国際交流協会事務局

〒482-0021 岩倉市新柳町3-2 1-2 (内藤方) TEL/FAX (0587)66-7347

**会費振込先** いちい信用金庫 本店 普通預金1016300

口座名 岩倉市国際交流協会 会計 大橋 まり子

**会費** 家族会員 3口 (3,000円)以上

ジュニア会員 1口 (1,000円)以上

団体会員 10口 (10,000円)以上 (1口1,000円です)

**問い合わせ先** 内藤(0587)66-7347 中山(0587)66-8573 三浦(0586)87-1077

大橋(0587)37-7117 井上(0587)37-4032

会報 COM第45号(2004年10月15日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷 http://www.iies.info/